

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課

担当課長名：徳山 日出男

事業名	地域高規格道路 美作岡山道路 主要地方道佐伯長船線（熊山IC～瀬戸JCT）	事業区分	地方道	事業主体	岡山県	
起終点	自：岡山県赤磐市可真下 至：岡山県岡山市瀬戸町塩納	延長	4.0 km			
事業概要	佐伯長船線は、和気町佐伯を起点として瀬戸内市長船町長船に至る延長約18kmの幹線道路である。本事業は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成する延長4.0kmの自動車専用道路の整備である。					
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H12年度用地着手	H15年度工事着手			
全体事業費	200億円	事業進捗率	20%	供用済延長	-km	
計画交通量	12,900台/日(2/4)					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.6 (残事業) 3.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 125/181億円 事業費：122/178億円 維持管理費：3.1/3.1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 478/478億円 走行時間短縮便益：381/381億円 走行費用減少便益：67/67億円 交通事故減少便益：30/30億円	基準年	平成19年	
感度分析の結果	残事業について、感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.4(+10%)～3.1(-10%)、事業費変動：B/C=3.5(+10%)～4.2(-10%)、 事業期間変動：B/C=3.5(+20%)～4.2(-20%)、割引率変動：B/C=3.3(+1%)～4.6(-1%)					
事業の効果等	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上、岡山空港（第三種空港）へのアクセス向上が見込まれる。					
関係する地方公共団体等の意見	沿道市長の首長及び議会議長で構成する「美作岡山道路整備促進期成会」など複数の団体から要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	地域高規格道路 美作岡山道路の佐伯IC～熊山IC間が供用開始（平成18年2月22日）					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得は概ね完了している。今後、TNや橋梁の工事に加え山陽自動車道とのJCT部の工事に着手する。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後も関係機関と調整を図り、平成20年代の全線供用（暫定）を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生資源利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。